

中小企業動向調査（2021年6月末日基準）

この調査は、富山県内企業272社からのアンケート結果をまとめたものです。

企業の調査資料として、令和3年4月～6月の実績、令和3年7月～9月の見込み、令和3年10月～12月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数
272

調査時期：2021年7月上旬

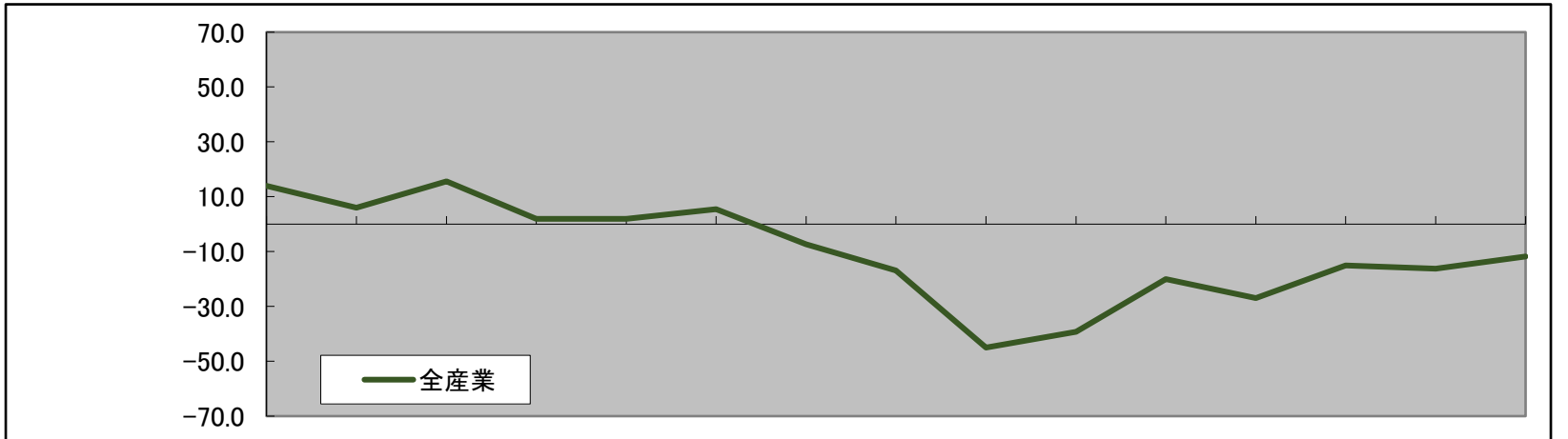
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

2021年7月の日本銀行による「経済・物価情勢の展望」では、「わが国の景気は、内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している。…そうしたもとの、輸出や鉱工業生産は着実な増加を続けている。また、企業収益や業況感は全体として改善している。」（一部抜粋）となっています。ただし、業種によってはまだ業況が回復していないところがあり、また、変異型ウイルスの発生に伴う経済活動の影響も計り知れないものがあるため、今後の経済動向についても注視が必要な状況です。

I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

		（％）												見込	予測	
		2018			2019			2020			2021					
種別	期別	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
良	い	24.8	21.6	23.8	19.3	21.3	22.7	14.8	15.0	9.1	11.8	16.8	14.1	17.3	10.7	11.0
普	通	64.2	62.8	68.0	63.2	59.2	59.9	63.1	53.1	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	62.5	66.2
悪	い	10.9	15.6	8.2	17.5	19.4	17.4	22.1	31.9	54.1	51.1	36.8	41.1	32.4	26.8	22.8
D .	I .	13.9	6.0	15.6	1.9	1.9	5.4	-7.4	-16.9	-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-16.2	-11.8



- (1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D. I. 「良い-悪い」は、今回調査の4-6月期ではマイナス15.1ポイントとなり、前回比で11.9ポイント改善しました。先行きについては、7-9月は1.1ポイント悪化予想となりますが、10月-12月に向けて回復予測です。

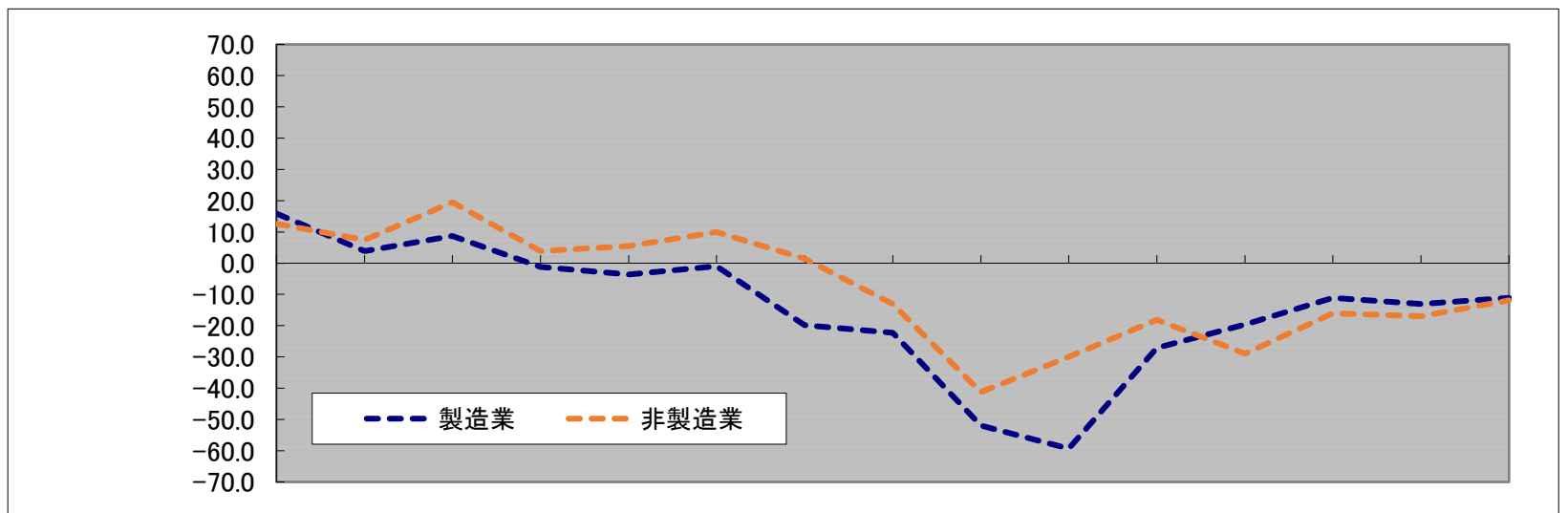
I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）															見込	予測
		2018			2019			2020			2021							
		4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月		
良	い	29.0	20.8	19.6	16.7	21.4	22.5	11.9	13.9	7.8	8.5	20.3	17.6	20.4	14.8	13.0		
普	通	57.9	62.3	69.6	65.5	53.6	53.9	56.4	50.0	32.5	23.7	32.2	45.1	48.1	57.4	63.0		
悪	い	13.1	16.9	10.9	17.9	25.0	23.5	31.7	36.1	59.7	67.8	47.5	37.3	31.5	27.8	24.1		
D	. I .	15.9	3.9	8.7	-1.2	-3.6	-1.0	-19.8	-22.2	-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-13.0	-11.1		

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）															見込	予測
		2018			2019			2020			2021							
		4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月		
良	い	22.2	22.1	26.2	21.1	21.3	22.9	16.8	15.8	9.8	13.4	15.8	13.2	16.5	9.6	10.6		
普	通	68.3	63.1	67.1	61.7	63.0	64.3	67.8	55.5	39.2	43.3	50.2	44.7	50.9	63.8	67.0		
悪	い	9.6	14.8	6.7	17.2	15.7	12.9	15.4	28.8	51.0	43.3	33.9	42.1	32.6	26.6	22.5		
D	. I .	12.6	7.4	19.5	3.9	5.5	10.0	1.4	-13.0	-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-17.0	-11.9		



- (2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前回比8.5ポイントの改善、非製造業では前回比12.8ポイント改善しました。非製造業については、情報通信業で回復傾向が見られますが、宿泊・飲食業については69.4ポイントとなっており依然として厳しい状況が続いています。

II. 売上高状況

売上高状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
増加	31.0	21.7	25.3	21.1	25.6	25.8	18.6	15.3	10.0	14.0	20.0	17.7	24.6	16.9	19.1
横ばい	54.7	54.0	61.5	56.3	52.1	56.7	52.5	49.4	29.5	29.0	36.8	38.7	46.0	58.1	58.1
減少	14.2	24.2	13.2	22.5	22.3	17.5	28.9	35.3	60.5	57.0	43.2	43.5	29.4	25.0	22.8
D . I .	16.8	-2.5	12.1	-1.4	3.3	8.3	-10.3	-20.0	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-8.1	-3.7

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

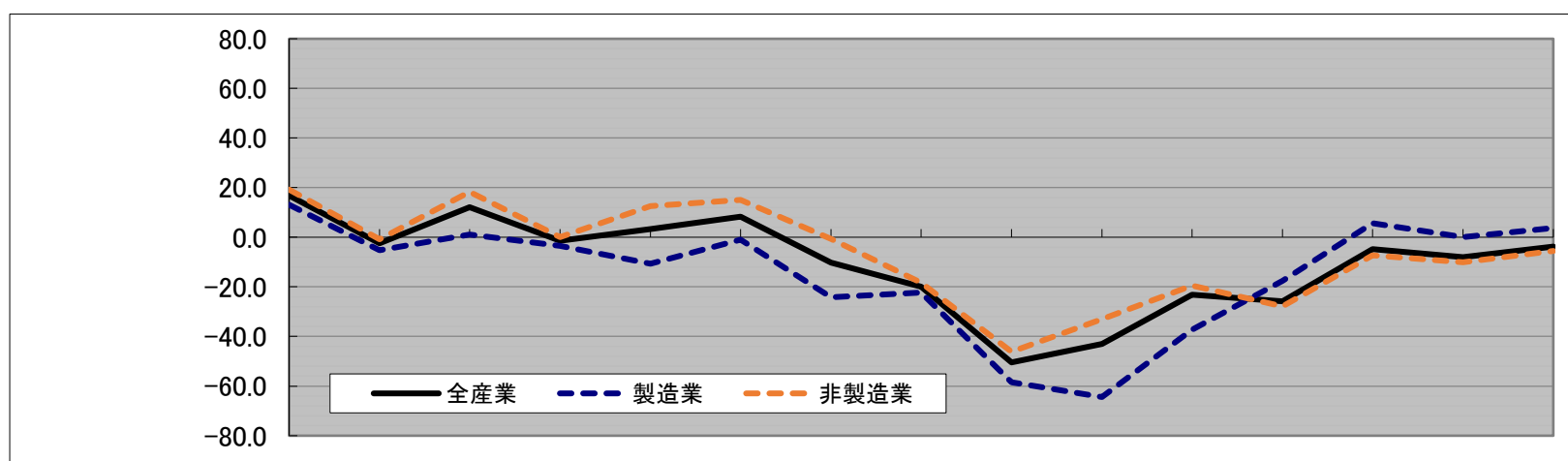
	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
増加	29.9	19.5	18.3	17.6	21.4	22.8	16.2	16.7	7.8	5.1	15.3	23.5	29.6	20.4	25.9
横ばい	53.3	55.8	64.5	61.2	46.4	53.5	43.4	44.4	26.0	25.4	32.2	35.3	46.3	59.3	51.9
減少	16.8	24.7	17.2	21.2	32.1	23.8	40.4	38.9	66.2	69.5	52.5	41.2	24.1	20.4	22.2
D . I .	13.1	-5.2	1.1	-3.5	-10.7	-1.0	-24.2	-22.2	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	0.0	3.7

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
増加	31.7	23.1	29.3	23.4	28.3	28.1	20.3	14.3	11.2	18.1	21.3	16.2	23.4	16.1	17.4
横ばい	55.7	52.9	59.8	53.1	55.9	59.0	58.7	53.1	31.5	30.7	38.0	39.6	45.9	57.8	59.6
減少	12.6	24.0	11.0	23.4	15.7	12.9	21.0	32.7	57.3	51.2	40.7	44.2	30.7	26.1	22.9
D . I .	19.2	-0.8	18.3	0.0	12.6	15.1	-0.7	-18.4	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-10.1	-5.5



- (1) 売上高D. I. は全産業においてマイナス4.8となり、前回比21.0ポイント改善しました。先行きについては、7-9月、10-12月とも横ばいと答えた企業が5割を超えており、売上高の減少は下げ止まっています。
- (2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業では前回比23.2ポイントの改善、非製造業では前回比20.6ポイントの改善となっています。製造業7-9月は売上高D. Iは5.6ポイント悪化予想、10-12月はD. Iプラス3.7を予測しています。非製造業では7月以降もコロナの影響大きく依然として減少が増加を上回るものの、D. Iは緩やかに改善予測です。

Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
不足	5.0	4.1	3.5	2.6	2.6	3.5	2.8	3.1	9.1	7.5	7.9	8.5	10.3	11.4	10.7
適正	89.9	88.8	91.3	89.5	89.7	90.7	88.1	88.1	80.9	81.2	86.1	84.3	83.5	84.2	86.0
過剰	5.0	7.1	5.2	7.9	7.7	5.7	9.2	8.8	10.0	11.3	6.1	7.3	6.3	4.4	3.3
D . I .	0.0	-2.9	-1.7	-5.3	-5.1	-2.2	-6.4	-5.8	-0.9	-3.8	1.8	1.2	4.0	7.0	7.4

製品在庫水準の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

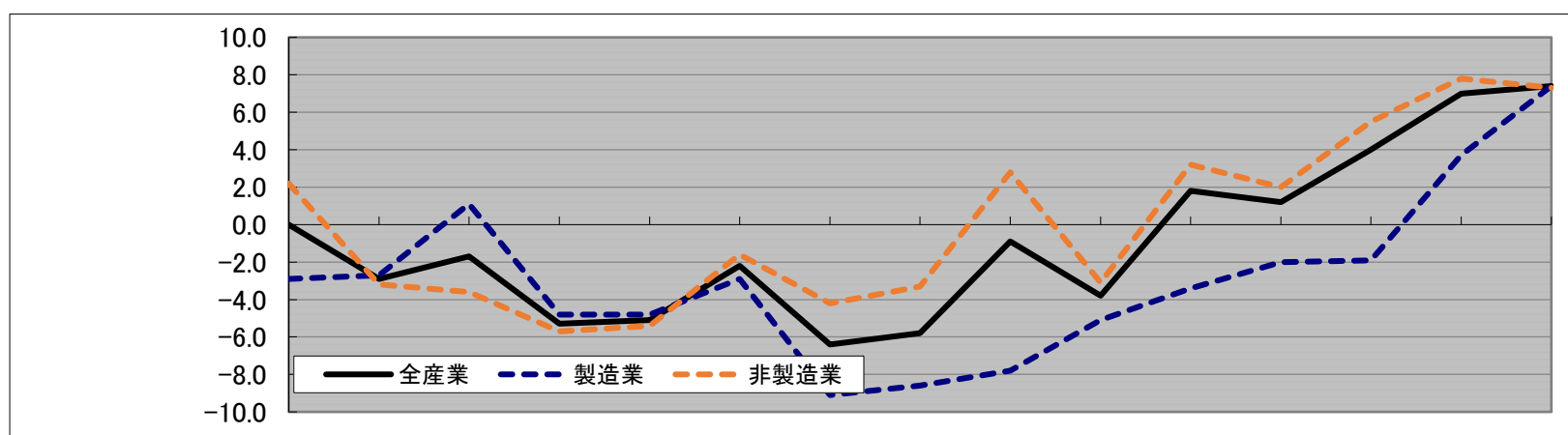
	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
不足	6.7	5.3	5.4	4.8	3.6	4.9	3.0	1.9	5.2	5.1	5.1	7.8	7.4	9.3	9.3
適正	83.7	86.7	90.2	85.7	88.1	87.3	84.8	87.6	81.8	84.7	86.4	82.4	83.3	85.2	88.9
過剰	9.6	8.0	4.3	9.5	8.3	7.8	12.1	10.5	13.0	10.2	8.5	9.8	9.3	5.6	1.9
D . I .	-2.9	-2.7	1.1	-4.8	-4.8	-2.9	-9.1	-8.6	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.7	7.4

製品在庫水準の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
不足	3.7	3.2	2.2	0.9	1.8	2.4	2.5	4.1	11.2	8.7	8.6	8.6	11.0	11.9	11.0
適正	94.8	90.5	92.0	92.5	91.0	93.6	90.8	88.4	80.4	79.5	86.0	84.8	83.5	83.9	85.3
過剰	1.5	6.3	5.8	6.6	7.2	4.0	6.7	7.4	8.4	11.8	5.4	6.6	5.5	4.1	3.7
D . I .	2.2	-3.2	-3.6	-5.7	-5.4	-1.6	-4.2	-3.3	2.8	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.8	7.3



- (1) 4-6月の製品在庫水準D.Iはプラス4.0と若干不足が上回っています。7-9月、10-12月は売上回復見込みのなか、在庫不足感が高まる予測となっています。

IV. 資金繰状況

資金繰状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	12.8	13.1	16.0	12.2	13.3	10.7	11.5	8.3	14.1	15.1	13.2	13.3	14.0	11.8	10.7
普通	80.7	78.8	75.5	76.5	78.2	81.8	76.6	81.5	66.4	64.5	70.4	67.3	68.8	68.4	66.2
厳しい	6.6	8.1	8.6	11.3	8.5	7.4	11.9	10.2	19.5	20.4	16.4	19.4	17.3	19.9	23.2
D . I .	6.2	5.1	7.4	0.9	4.7	3.3	-0.4	-2.0	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	-8.1	-12.5

資金繰状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

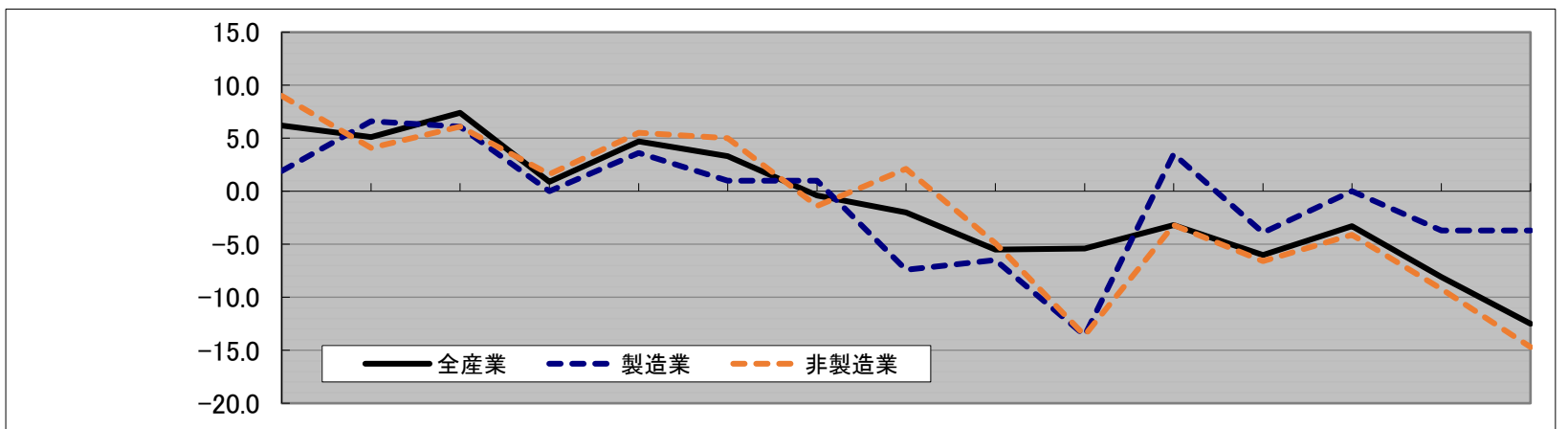
	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	11.2	13.2	18.3	10.6	13.1	11.8	13.9	7.4	15.6	6.8	15.3	11.8	14.8	11.1	11.1
普通	79.4	80.3	73.1	78.8	77.4	77.5	73.3	77.8	62.3	72.9	71.9	72.5	70.4	74.1	74.1
厳しい	9.3	6.6	8.5	10.6	9.5	10.8	12.9	14.8	22.1	20.3	12.3	15.7	14.8	14.8	14.8
D . I .	1.9	6.6	6.1	0.0	3.6	1.0	1.0	-7.4	-6.5	-13.6	3.5	-3.9	0.0	-3.7	-3.7

資金繰状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018			2019				2020				2021			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	13.8	13.1	14.6	13.3	13.4	10.0	9.8	8.9	13.3	18.9	12.7	13.7	13.8	11.9	10.6
普通	81.4	77.9	76.8	75.0	78.7	85.0	79.0	84.2	68.5	60.6	71.5	66.0	68.3	67.0	64.2
厳しい	4.8	9.0	8.5	11.7	7.9	5.0	11.2	6.8	18.2	20.5	15.8	20.3	17.9	21.1	25.2
D . I .	9.0	4.1	6.1	1.6	5.5	5.0	-1.4	2.1	-4.9	-13.6	-3.2	-6.6	-4.1	-9.2	-14.7



- (1) 4-6月の資金繰状況は全産業で改善しています。製造業ではD. I. 0.0となりましたが、非製造業ではマイナス4.1であり製造業よりも厳しい状況となっています。7-9月、10-12月についてもD. I. は悪化してきており、厳しい状況が続きます。

V. 利益状況

利益状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018			2019			2020			2021					
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	54.2	53.3	57.5	46.9	50.5	48.3	45.9	43.1	33.6	33.9	44.6	31.5	34.2	27.9	31.6
収支トントン	35.9	33.7	35.4	41.2	32.9	37.2	40.1	32.8	28.6	31.7	27.9	33.1	34.9	48.5	48.9
償却後赤字	9.9	13.1	7.1	11.8	16.7	14.5	14.0	24.1	37.7	34.4	27.5	35.5	30.9	23.5	19.5
D . I .	44.3	40.2	50.4	35.1	33.8	33.9	31.8	19.0	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	3.3	4.4	12.1

利益状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

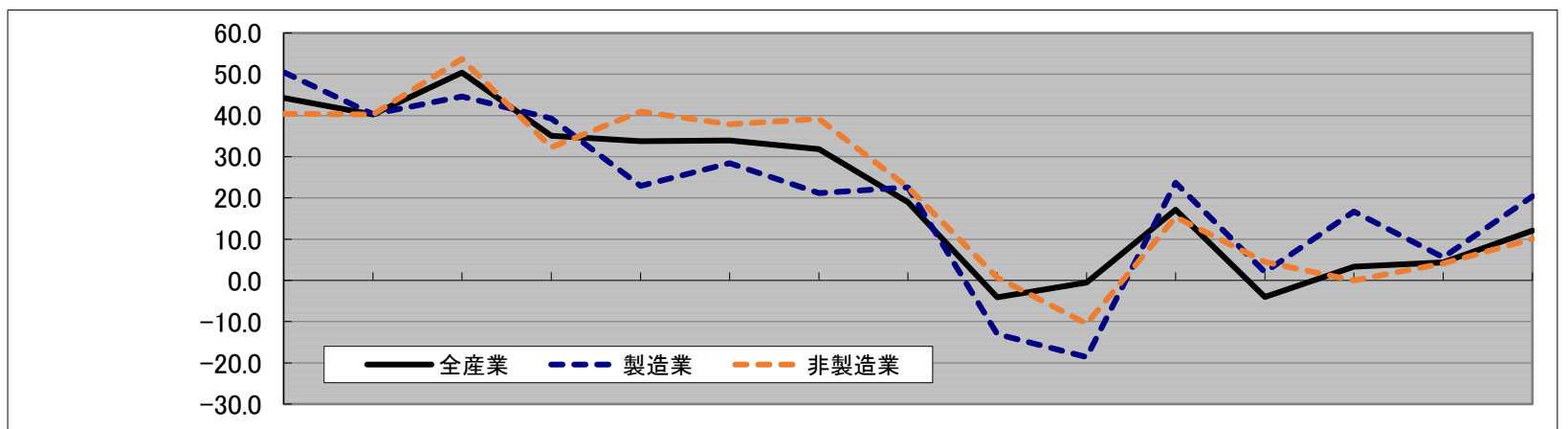
	2018			2019			2020			2021					
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	60.7	57.1	54.3	50.0	44.6	46.1	38.4	44.9	32.5	25.4	54.2	39.2	42.6	29.6	33.3
収支トントン	29.0	26.0	35.9	39.3	33.7	36.3	44.4	24.3	22.1	30.5	15.3	23.5	31.5	46.3	53.7
償却後赤字	10.3	16.9	9.8	10.7	21.7	17.6	17.2	19.2	45.5	44.1	27.5	37.3	25.9	24.1	13.0
D . I .	50.5	40.3	44.6	39.3	22.9	28.4	21.2	22.6	-13.0	-18.6	23.7	2.0	16.7	5.6	20.4

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018			2019			2020			2021					
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	50.0	50.8	59.3	44.9	54.3	50.0	51.0	41.8	34.3	23.4	42.2	33.0	32.1	27.5	31.2
収支トントン	40.4	38.5	35.2	42.5	32.3	37.9	37.1	39.0	32.2	42.7	31.2	38.5	35.8	49.1	47.7
償却後赤字	9.6	10.7	5.6	12.6	13.4	12.1	11.9	19.2	33.6	33.9	26.7	28.5	32.1	23.4	21.1
D . I .	40.4	40.2	53.7	32.3	40.9	37.9	39.2	22.6	0.7	-10.5	15.4	4.5	0.0	4.1	10.1

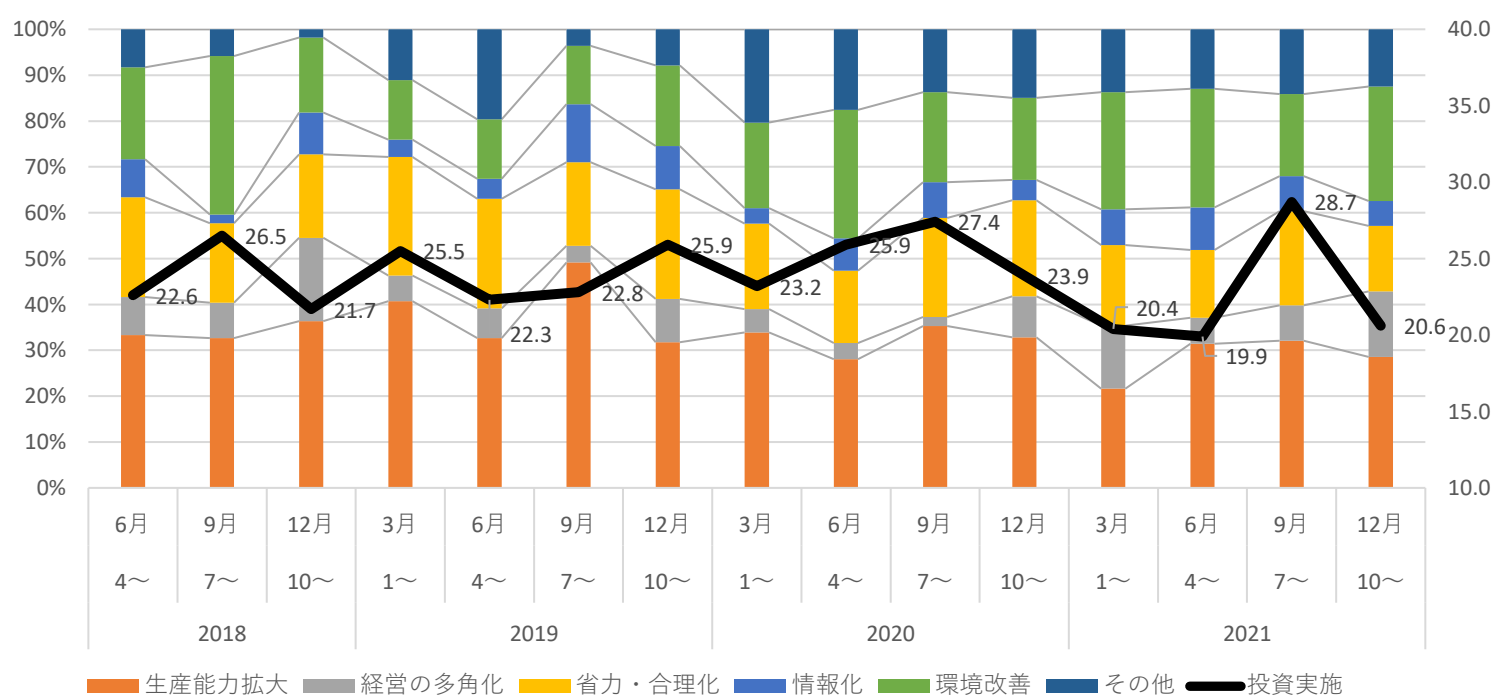


- (1) 全産業の4-6月利益状況のD、Iは7.3ポイント改善しました。また、今後も改善していく見込です。製造業は4-6月は14.7ポイント改善、非製造業は4-6月は4.5ポイント悪化し、再度改善する予想です。

VI. 設備投資動向

	2018												2019				2020				2021				見込	予測
	4～6月			7～9月			10～12月			1～3月		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月		4～6月		7～9月		10～12月		
	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018		
投資実施	22.6	26.5	21.7	25.5	22.3	22.8	25.9	23.2	25.9	27.4	23.9	20.4	19.9	28.7	20.6											
投資せず	77.4	73.5	78.3	74.5	77.7	77.2	74.1	76.8	74.1	72.6	76.1	79.4	80.1	71.3	79.4											

	2018												2019				2020				2021				見込	予測
	4～6月			7～9月			10～12月			1～3月		4～6月		7～9月		10～12月		1～3月		4～6月		7～9月		10～12月		
	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2018		
生産能力拡大	33.3	32.7	36.4	40.7	32.6	49.1	31.7	33.9	28.1	35.3	32.8	21.6	31.5	32.1	28.6											
経営の多角化	8.3	7.7	18.2	5.6	6.5	3.6	9.5	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	5.6	7.7	14.3											
省力・合理化	21.7	17.3	18.2	25.9	23.9	18.2	23.8	18.6	15.8	21.6	20.9	17.6	14.8	20.5	14.3											
情報化	8.3	1.9	9.1	3.7	4.3	12.7	9.5	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.3	7.7	5.4											
環境改善	20.0	34.6	16.4	13.0	13.0	12.7	17.5	18.6	28.1	19.6	17.9	25.5	25.9	17.9	25.0											
その他	8.3	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	13.0	14.1	12.5											

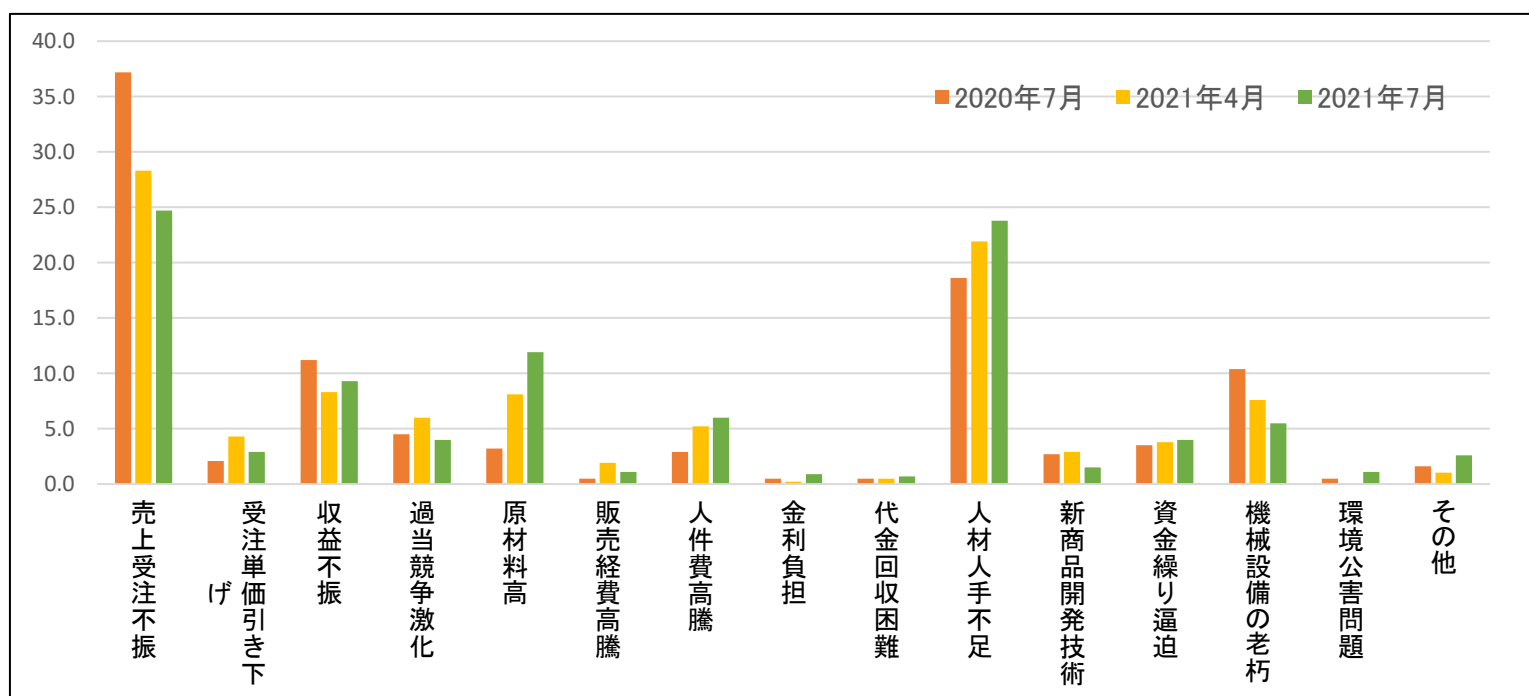


- (1) 今回の調査では、設備投資を実施した企業は19.9%となり、前回比マイナス0.5ポイントとなっています。設備投資を実施した目的については、「生産能力を拡大」の回答が前回比プラス9.9ポイントとなり、売上回復に伴う設備投資意欲が回復してきている様子が見られます。

VII. 当面の経営上の問題点

(% : 複数回答あり)

	2020年7月 (前年同月)	2021年4月 (前回)	2021年7月 (今回)		前环比増減	
			(うち製造業)	(うち非製造業)		
売上受注不振	37.2	28.3	24.7	(25.3)	(24.6)	-3.6
受注単価引き下げ	2.1	4.3	2.9	(2.1)	(3.1)	-1.4
収益不振	11.2	8.3	9.3	(9.5)	(9.2)	1.0
過当競争激化	4.5	6.0	4.0	(2.1)	(4.5)	-2.0
原材料高	3.2	8.1	11.9	(14.7)	(11.2)	3.8
販売経費高騰	0.5	1.9	1.1	(0.0)	(1.4)	-0.8
人件費高騰	2.9	5.2	6.0	(3.2)	(6.7)	0.8
金利負担	0.5	0.2	0.9	(1.1)	(0.8)	0.7
代金回収困難	0.5	0.5	0.7	(0.0)	(0.8)	0.2
人材人手不足	18.6	21.9	23.8	(21.1)	(24.6)	1.9
新商品開発技術	2.7	2.9	1.5	(4.2)	(0.8)	-1.4
資金繰り逼迫	3.5	3.8	4.0	(3.2)	(4.2)	0.2
機械設備の老朽	10.4	7.6	5.5	(6.3)	(5.3)	-2.1
環境公害問題	0.5	0.0	1.1	(1.1)	(1.1)	1.1
その他	1.6	1.0	2.6	(6.3)	(1.7)	1.6



- (1) 経営上の問題「売上受注不振」の割合が減少してきており、対前年比マイナス12.5ポイントと改善しています。ある程度、コロナ禍における売上減少については下げ止まってきていると推測できます。代わりに、「人材人手不足」が問題として高くなってきており、対前年比プラス5.2ポイントとなっています。「原材料高」も高くなってきており、今後注視が必要です。